

JA 新潟厚生連臨床検査技師会・新人教育プログラム

《 I. 社会人・医療人としての研修 》

社会人として、また医療人としての社会人基礎力（多様な人々と仕事をしていくうえで必要な基礎的な力）を修得する。

① キャリア開発

医療人としての役割理解、医療と一般の接遇の考え方の違い
接遇向上の必要性
医療従事者の基本行動
良好なコミュニケーション（応対力）
目に見える表現方法 身だしなみ、言葉遣い
クレームの考え方
キャリア開発について
チーム医療の概念、チーム医療の一員となるために

② 管理運営

コンプライアンス（法令遵守）
医の倫理概論
患者の権利
インフォームドコンセント
医療倫理的問題の把握と意思決定
医療機関の医療安全体制

③ 経営管理

医療機関の経営管理と経営資源
就業規則について
タイムマネジメント、健康管理とストレスマネジメント
情報セキュリティ

④ 組織管理

コミュニケーションスキル
質問力の向上
実践スキルの強化とキャリアの達成に向けて
チーム医療を実現する問題解決力
チーム医療における臨床検査技師の役割
効果的なプレゼンテーション

《Ⅱ. 臨床検査業務・検査技術の研修（主に日当直業務の研修）》

臨床検査技師として、自施設で実施している検査業務の内容および外部委託等を含めた検査全般を理解するとともに基本的な検査技術を修得する。

1) 検査業務に関連する研修

① 医療情報システム

- ・安全に使用・管理するための研修。
- ・検査依頼から結果報告までの一連についての研修
(電子カルテ、検体・生理・病理システム。サーバーおよびシステムメンテナンスを含む)

② 機器の保守管理、精度管理、各種日誌・台帳

- ・機器の日常保守・定期保守、内部精度管理、日誌および台帳記載方法

③ 医療安全

- ・検体の取り扱い（検体検査部門）、実施する検査の説明（生理機能検査部門）
- ・検体取り間違い防止、患者確認方法、パニック値対応、
- ・測定機器の異常・停止時の対応、災害時対応、インシデント・アクシデント対応

④ 感染対策

- ・手袋・マスクの着用と廃棄、PPE（個人防護具）着用方法、感染性廃棄物の廃棄方法

2) 検査業務研修

○検体検査部門

- ・一般検査分野：尿検査、便検査、髄液検査、体腔液検査、妊娠反応 他
- ・血液分野：血球算定検査、血液像検査、凝固・線溶系検査、血沈 他
- ・臨床化学分野：生化学検査、血液ガス分析、浸透圧、ドライケム 他
- ・免疫血清分野：免疫検査、インフルエンザ等感染症の迅速検査 他

○移植検査部門：血液型検査、不規則性抗体検査、交差適合試験 他

○感染制御部門（微生物分野）：グラム染色、抗酸菌染色、検体処理、迅速検査 他

○生理機能検査部門：心電図検査（その他の検査は機器等の説明） 他

○病理・細胞分野：検体処理（その他の包埋・薄切、特殊染色検査の説明） 他

○採血室業務：採取管準備、患者説明、静脈採血（採血管の順番） 他

《Ⅲ. 担当業務の研修》

各自が担当する業務については日当直業務の研修（「臨床検査業務・検査技術の研修」）より専門的な知識と技術が必要になる。

各部門・分野の先輩技師の指導により専門的な知識と検査技術を修得する。

《Ⅳ. 自己研鑽（自らスキルを磨き、知識を深める）》

自ら研修会・講習会に参加する事で自身の視野を広め、豊富な知識と技術を身に付ける事ができる。技師会は自主的な学習・演題発表・認定取得を組織として支援する。

- 1) 日本臨床衛生検査技師会、新潟県臨床検査技師会
各種研修会および講習会
- 2) 新潟県厚生連検査技師会
 - ・新人研修会　・春季研修会　・輸血研修会（実技）　・秋季研修会
 - ・輸血研修会（座学）　・e-ラーニング研修
 - ・各研究班の研修会および講習会
 - ・農村医学会新潟地方会
 - ・日本医学検査学会（代表派遣5名）
 - ・北日本支部医学検査学会（代表派遣7名）
- 3) 認定制度
 - ・認定輸血検査技師　・認定血液検査技師　・認定臨床微生物検査技師
 - ・感染制御認定臨床微生物検査技師　・認定心電検査技師　・超音波検査士
 - ・血管診療技師　・認定救急検査技師　・医療情報技師　・糖尿病療養指導士
 - ・認定一般検査技師　・臨床化学・免疫化学精度保障管理検査技師
 - ・認定認知症領域検査技師　・認定病理検査技師　・細胞検査士　　他